

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		生涯スポーツ振興事業		款	7	項	6	目	1	事業	1	整理番号	539		
担当部課名		教育委員会事務局スポーツ振興課		係名	事業係			連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	553			
(平成23年度担当部課名)		教育委員会事務局社会教育スポーツ課						予算事業区分	既定事業						
事業開始		昭和	▼	37	年度								<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業		
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	スポーツをする機会の少ない人及びスポーツ団体・競技者								
根拠法令等		(1) 社会教育法第3, 5条、スポーツ基本法第22, 32条 (2) 杉並区スポーツ推進委員に関する規則、杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱													
事務事業の概要		事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図ると共に、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。						活動指標名(式) (1) 各種生涯スポーツ事業回数 (2) 共催件数							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○体育指導委員(平成23年8月よりスポーツ推進委員)を公募により委嘱し、スポーツによる地域づくりを目指して各種事業を企画・実施する。 ○中学校対抗駅伝、すぎなみ名物ファミリー駅伝、区民歩こう会(春、秋)、わいわいスポーツ教室、交流自治体とのスポーツ交流事業を開催する。 ○体育団体の事業を共催・後援して活動助成する。 ○体育大会等で優秀な成績を収めた方に対してスポーツ栄誉章を授与する。						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者数 算定式・指標の説明等 生涯スポーツ振興事業10事業の延参加者数 成果指標名(2) 各種事業ボランティア等人数 算定式・指標の説明等 生涯スポーツ振興事業8事業の実行委員・ボランティアの延人数							
区分		単位	21年度		22年度		23年度			24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %				
			実績		計画	実績		計画(目標値)	実績		計画				
指標	活動指標(1)	① 回	37		36	45		45	47		45	104.4			
	活動指標(2)	② 件	34		37	37		37	36		37	97.3			
	成果指標(1)	③ 人	2,194		2,480	2,472		2,540	2,390		2,533	94.1			
	成果指標(2)	④ 人	867		898	864		913	946		543	103.6			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	30,453		34,012	31,331		41,329	39,615		27,078	23年度予算執行率% 95.9			
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0		0	0		0	0		0	特記事項 (*) 「成果指標(1)」の生涯スポーツ振興事業10事業は以下のとおり。 ①体育指導委員(スポーツ推進委員)地域拠点活動等 ②綱引き大会 ③キンボール交流大会 ④すぎなみスポーツデビュー ⑤中学校対抗駅伝 ⑥すぎなみ名物・ファミリー駅伝 ⑦区民歩こう会 ⑧わいわいスポーツ教室 ⑨スポーツ交流 ⑩スポーツ栄誉章 このうち、④⑩以外の8事業は、実行委員やボランティアを募り区員参画により事業を実施しているため、その人数を「成果指標(2)」としている。			
	(内)委託費	⑦ 千円	860		844	804		8,100	7,581		796				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	4.71	1.10	4.30	1.10	4.49	1.10	4.20	1.10	4.57		1.10	4.65	1.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	41,820		38,356	40,051		37,380	40,673			41,385		
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	3,072		3,245	3,245		3,388	3,388			3,080		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	75,345		75,613	74,627		82,097	83,676		71,543				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	2,036,351		2,100,361	1,658,378		1,824,378	1,780,340		1,589,844				
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	478		600	384		600	1,370			600		
		国からの補助金等	⑭ 千円	0		0	0		0	0			0		
		都からの補助金等	⑮ 千円	24		31	44		31	60			31		
		その他の補助金等	⑯ 千円	0		0	0		0	750			0		
		特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰ 千円	502		631	428		631	2,180			631		
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱ 千円	74,843		74,982	74,199		81,466	81,496		70,912				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲ %	0.6		0.8	0.5		0.7	1.6		0.8					

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 539

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)															
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">駅伝大会(中学校対抗駅伝、ファミリー駅伝)</td> <td style="width: 5%;">637</td> <td style="width: 5%;">人</td> <td style="width: 15%;">19,139</td> </tr> <tr> <td>交流自治体等とのスポーツ交流(バレーボール、中学生軟式野球)</td> <td>182</td> <td>人</td> <td>10,119</td> </tr> <tr> <td>各種体育団体の活動助成</td> <td>27</td> <td>事業</td> <td>4,184</td> </tr> <tr> <td>体育指導委員</td> <td>29</td> <td>人</td> <td>4,180</td> </tr> <tr> <td>その他(区民歩こう会、わいわいスポーツ教室、スポーツ荣誉章)</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">1,993</td> </tr> </table>	駅伝大会(中学校対抗駅伝、ファミリー駅伝)	637	人	19,139	交流自治体等とのスポーツ交流(バレーボール、中学生軟式野球)	182	人	10,119	各種体育団体の活動助成	27	事業	4,184	体育指導委員	29	人	4,180	その他(区民歩こう会、わいわいスポーツ教室、スポーツ荣誉章)	1,993
駅伝大会(中学校対抗駅伝、ファミリー駅伝)	637	人	19,139																	
交流自治体等とのスポーツ交流(バレーボール、中学生軟式野球)	182	人	10,119																	
各種体育団体の活動助成	27	事業	4,184																	
体育指導委員	29	人	4,180																	
その他(区民歩こう会、わいわいスポーツ教室、スポーツ荣誉章)	1,993																			
(2) 事業実績	区民や団体、体育指導委員(平成23年8月からスポーツ推進委員)等の参画により企画・実施しています。体育団体育成は、共催事業36件、後援事業115件の活動助成を行い、27件に共催分担当金を支出しました。また、5交流自治体によるバレーボール交流会と、南相馬市も参加した台湾との中学生野球交流事業を行いました。体育大会等で優秀な成績を収めた者に対し、スポーツ荣誉章を授与しました(36組151名)。また、「スポーツ祭東京2013」に向け、「正しいラジオ体操リーダー講座」を実施し、38人が修了しました。																			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	【区民意向調査】 (5年前との比較) 健康状態について、「非常に健康である」「だいたい健康である」の割合 H18:82.9% H23:86.0% ボランティア活動について、「活動してみたいと思う」人の割合 H18:46.8% H23:54.6% 取り組んでいる社会参加活動について、「スポーツ活動」をあげた人の割合 H18:19.3% H23:21.7%
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	中学校対抗駅伝大会への区内関係団体の関心が高く、当日のボランティア協力員として多くの参加がありました。平成23年度に初めて実施した「台湾との中学生野球交流事業」に参加した中学生は、初めての海外での交流試合などを通して、多くの経験ができたこと、本人や保護者、指導者からの声がありました。すぎなみ名物・ファミリー駅伝は、定員を上回る62チームの申込みがあり、「名物」としての人气が定着しています。わいわいスポーツ教室は、新たなプログラムとして、屋外で紙飛行機やサッカーを楽しむ「外で遊ぼう」が大変好評でした。
	今後の予測	健康意識の高まり、元気な高齢者の増加等により、身近な場で運動・スポーツの機会を求める人がさらに増えることが予想されます。また、地域の人のつながりを求める機運やボランティア活動への意識も高まることが予想され、スポーツによる地域づくりを目指し、区民参画の取り組みをさらに拡充します。「スポーツ祭東京2013」の開催や、オリンピック招致活動と共に、区民スポーツの気運を高めます。
評価と課題	各種事業の参加者数等は、平成22年度2,472人、平成23年度2,390人と微減しました。各種事業のボランティア等人数は、平成22年度864人、平成23年度946人と増加しました。ボランティア参加や実行委員等としての参画の機会が増えるよう、さらに工夫を重ねることが課題です。また、スポーツ基本法施行により、体育指導委員はスポーツ推進委員に名称変更し、連絡調整の役割が加わっており、人材確保が引き続き課題となっています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更		
平成22年度から、(財)杉並区スポーツ振興財団との役割分担について協議を重ねてきました。平成24年4月から公益法人となった同財団のノウハウやネットワークを活用することで、より効果的に事業を実施することを目指し、生涯スポーツ振興事業の一部を段階的に移行します。 平成25年度開催の「スポーツ祭東京2013」では、杉並区は、国民体育大会デモンストレーションとしてのスポーツ行事「ラジオ体操」「ガーデンゴルフ」、全国障害者スポーツ大会オープン競技「ユニカール」の3種目の会場となります。区民のスポーツに対する気運醸成や、すぎなみ地域大学でのリーダー向け講習会を行います。 体育指導委員(スポーツ推進委員)は、「親子で元気アップ」事業の定例化や、小学生の健康相談業務に従事するなど、従来の活動に加えて子どもの体力づくりへの課題に引き続き取り組みました。今後は、地域拠点活動をより充実させ、一人でも多くのスポーツ非実施者がスポーツに参加できるよう、地域に密着した展開を目指します。						

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		財団法人杉並区スポーツ振興財団への助成				款	7	項	6	目	1	事業	2	整理番号	540	
担当部課名		教育委員会事務局スポーツ振興課				係名	施設管理係			連絡先電話番号	1676		昨年度整理番号	554		
(平成23年度担当部課名)		教育委員会事務局社会教育スポーツ課				予算事業区分			既定事業							
事業開始		平成	▼		5		年度				<input type="checkbox"/> 主要事業					
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人		<input type="checkbox"/> 世帯		<input checked="" type="checkbox"/> 団体		<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 内部管理		根拠 (1) 社会教育法第3, 5条 法令等 (2) スポーツ基本法第 条			
	財団法人杉並区スポーツ振興財団 (平成24年4月から公益財団法人杉並区スポーツ振興財団)															
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)													
	財団法人杉並区スポーツ振興財団が、その設立目的であるスポーツ振興に関する事業を活発に行うことができるよう、補助金を支出し、財団の安定的な運営に役立てる。		(1) 教室系事業の開催数 (2) 教室系事業の種目数													
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標														
○財団法人杉並区スポーツ振興財団(平成24年4月から公益財団法人)に対して、必要な経費を助成する。 ○「各種スポーツ教室」、「野外スポーツ活動」、「ニュースポーツ普及」、「スポーツ指導者養成」、「スポーツ普及事業」、「健康・体力づくり事業」等を実施		成果指標名(1)		各種教室参加者数												
		算定式・指標の説明等		教室系事業の延参加者数												
		成果指標名(2)		区民体育祭等参加者数												
		算定式・指標の説明等		大会系事業の延参加者数												
区分		単位	21年度		22年度		23年度				24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %				
			実績		計画	実績		計画(目標値)		実績			計画			
指標	活動指標(1)		①	教室	185	203	287		194		215		233	110.8		
	活動指標(2)		②	種目	64	66	60		66		53		72	80.3		
	成果指標(1)		③	人	48,538	83,997	66,323		89,500		52,567		69,087	58.7		
	成果指標(2)		④	人	35,277	34,620	37,050		36,646		34,768		57,405	94.9		
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	101,853	70,614	60,614		72,427		72,427		73,577	23年度予算執行率% 100.0		
	(内)投資的経費等		⑥	千円	0	0	0		0		0		0	特記事項 23年度の教室開催数等実績が22年度に比べ少ない主な理由は以下のとおり ・震災後の電力供給不足に対応し、7~9月の間、各屋内施設に週1回程度の輪番休場を設けるとともに、5~7月のナイター利用を中止した。 ・高井戸温水プールが大規模改修工事により、23年度は休止した		
	(内)委託費		⑦	千円	0	0	0		0		0		0			
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	0.76 0.00	0.70 0.00	0.73 0.00	0.69 0.00	0.60 0.00	0.50 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	6,748	6,244	6,512		6,141		5,340		4,450			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0		0		0		0			
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	108,601	76,858	67,126		78,568		77,767		78,027			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円	587,032	378,611	233,889		404,990		361,707		334,880			
	財源	受益者負担分		⑬	千円	0	0	0								
		国からの補助金等		⑭	千円	0	0	0								
		都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0								
		その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0								
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0		0		0		0				
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	108,601	76,858	67,126		78,568		77,767		78,027				
受益者負担比率⑬÷⑪		⑲	%	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0		0.0				

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 540

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		運営等補助金	1	団体	72,427
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	財団法人杉並区スポーツ振興財団に対して、補助金を支出しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>○区民意向調査において、取り組んでいる社会参加活動について、「スポーツ活動」をあげた人の割合は、平成18年度19.3%から平成23年度は21.7%となりました。</p> <p>○平成18年度に指定管理者制度を導入し、補助金のうち、施設の管理運営にかかる経費を別途支出することとしました。</p> <p>○平成24年4月から、より公益性を高めるため公益財団法人に移行しました。</p>
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>子ども対象の通年教室(なぎなた、短距離走、アスレチック等)を増やしたところ、いずれも人気が高く、これらへのニーズの高さが確認されました。また、高齢者対象の教室も、3ヶ月サイクルを通年に変更し、継続して参加するための利便性を高めるための工夫を行い、好評でした。スポーツ振興財団の指定管理施設・業務受託施設の合計利用者数は、高井戸温水プールの休業や節電による事業の中止などにより大幅に減少しましたが、他の施設ではほぼ目標に近い実績があり、区民のスポーツ活動への関心の高さを再認識しました。</p>
	今後の予測	<p>社会における運動・スポーツの必要性が高まる中で、子ども、女性、男性、高齢者、障害者など対象別のきめ細かい事業提供を行うと共に、公益法人としての役割を明確にし各体育施設の安定的な管理運営を継続していくことが求められます。</p>
	評価と課題	<p>公共的団体として、スポーツの普及や健康づくりを目的として行われている各種の区民スポーツ教室の実施、さらには区民体育祭やスポーツレクリエーション大会の運営など実施してきました。平成24年4月から公益財団法人に移行したことにより、今後はより公益性を高める事業展開が必要であり、区との割分担等を明確にしなが、事業の実施主体として、参加者の仲間づくりから地域づくりを支援する役割も求められています。</p>

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	<p>公益法人としてのスポーツ振興財団の果たす役割を明確にし、より公益的なスポーツ振興事業を担っていく必要があります。そこで、平成25年度に策定予定の(仮称)杉並区スポーツ推進計画に基づき、事業の実施主体として、生涯にわたり区民が自主的・継続的にスポーツに親しむことができるよう、財団のあり方を指定管理事業も含めて検討していく必要があります。</p>		

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		体育施設の維持管理		款	7	項	6	目	2	事業	1	整理番号	541	
担当部課名		教育委員会事務局スポーツ振興課		係名	施設管理係		連絡先電話番号	1676		昨年度整理番号	555			
(平成23年度担当部課名)		教育委員会事務局社会教育スポーツ課							予算事業区分	既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	30	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	施設利用者(区民、団体等)		根拠法令等	(1) 社会教育法第3, 5条 (2) スポーツ基本法第12条				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。							活動指標名(式)	(1) 延利用者数 (2)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>○指定管理者導入施設: 下高井戸運動場、上井草スポーツセンター、高円寺体育館、妙正寺体育館、大宮前体育館、永福体育館、荻窪体育館</p> <p>○業務委託施設: 松ノ木運動場、和田堀公園野球場、杉並第十小学校温水プール、(暫定)富士見ヶ丘運動場、(暫定)久我山運動場、屋外プール(2施設)</p> <p>○公園施設: 馬橋公園運動広場ほか3施設</p> <p>○高井戸温水プールは改修工事のため23年度は休場</p>							成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標				
		成果指標名(1)		(代)スポーツ活動に参加している人の割合		算定式・指標の説明等		杉並区区民意向調査の社会参加状況より						
		成果指標名(2)				算定式・指標の説明等								
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	①	人	1,403,202	1,420,000	1,456,759	1,420,000	1,332,231	1,420,000	93.8				
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③	%	22	25	22	25	22	25	86.8				
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	724,715	771,141	742,861	685,800	671,060	765,602	23年度予算執行率%		97.9		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	51,150	47,654	46,283				特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	636,525	666,434	659,864	592,988	589,149	650,263					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.51 0.90	2.27 0.90	2.38 0.90	2.21 0.90	2.43 0.90	2.21 0.90	利用実績 23年度の利用者数が22年度に比べ少ない主な理由は以下のとおり ・震災後の電力供給不足に対応し、7~9月の間、各屋内施設に週1回程度の輪番休場を設けるとともに、5~7月のナイター利用を中止した。 ・高井戸温水プールが大規模改修工事により、23年度は休場した ・関根文化公園プールが震災の影響により23年度は休場(24年3月末廃止) (暫定)久我山運動場が23年8月27日から一般利用開始 23年度に変更のあった主な経費 ・(暫定)久我山運動場の工事費として42,263千円、運営等の委託として4,295千円を支出 ・高井戸温水プールの指定管理者への管理運営業務委託費が60,544千円円減				
	人件費	⑨	千円	22,286	20,248	21,230	19,669	21,627	19,669					
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	2,514	2,655	2,655	2,772	2,772	2,772					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	749,515	794,044	766,746	708,241	695,459	788,043					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	498	526	495	499	522	555					
	受益者負担分	⑬	千円	65,121	65,632	94,554	71,778	75,083	64,948					
	国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0								
都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0									
その他の補助金等	⑯	千円	0	10,395	12,035									
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	65,121	76,027	106,589	71,778	75,083	64,948						
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	684,394	718,017	660,157	636,463	620,376	723,095						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%	8.7	8.3	12.3	10.1	10.8	8.2						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 541

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				高円寺体育館ほか6施設管理運営委託(指定管理者)	7
		上井草スポーツセンター管理運営委託(指定管理者)	1	施設	164,763
		杉並第十小学校温水プール 施設及び設備の管理業務委託	1	施設	130,171
		(暫定)久我山運動場の改修工事及び管理業務委託	1	施設	47,075
		その他(維持管理経費、業務委託費等)	179,163		
	(2) 事業実績	旧国立印刷局久我山運動場を整備し、(暫定)久我山運動場として23年8月27日より利用を開始しました。 指定管理者を導入した8施設については、23年度に公募型プロポーザル方式により第3期(平成24年度からの5年間)の選定を行いました。 高井戸温水プールについては、改修後の運営を地域区民センター・高齢者活動支援センターの3施設一体の指定管理者が行うこととし、公募型プロポーザル方式により選定しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	18年度から上井草スポーツセンター等8施設に指定管理者制度を導入しました。指定期間については23年度までは3年だったのを24年度からは、安定的な運営を確保し、経営努力を発揮しやすくするため、5年間としました。 体育施設の利用予約受付にあたっては、16年3月からすぽ一つ・ねっとから地域施設と同様のさざんかねっと(体育施設)にシステムを変更しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	体育施設の利用者アンケートによると、「施設の設備やサービスに対する総合満足度」において、「満足」「やや満足」と回答した人の割合が、1施設で90%以上、7施設で80%以上、2施設で70%以上となっており、相対的に前年度に比べて割合が上がりました。また、不満な点としては、施設の利用(予約)方法についての意見が多くみられます。
	今後の予測	指定管理者制度導入施設については、より一層の事業の充実や、利用者サービスの向上等による利用者の拡大が期待されるほか、効率的な運営によりコストの削減が見込めます。
	評価と課題	指定管理制度により、区のスポーツ振興事業だけでなく、指定管理者の自主事業も実施することで、施設利用が増え、サービス向上が図られています。今後は施設の安全性や利便性をより高められるよう、整備を計画的に行っていくこととあわせ、より多くの人が施設を利用できるよう、登録の手続き、予約システムの見直しなどを行っていく必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	指定管理者導入施設については、学識経験者や公認会計士、スポーツ関係団体委員からなる指定管理者評価委員会を開催、体育施設全般への施設利用者アンケートを実施するなど、利用者の声を反映するとともに、区民のスポーツ振興を図るための施設となるよう工夫や改善を進めていきます。 また、さざんかねっとシステムについては、27年度に地域課の集会施設と合わせて入れ替えを予定しています。この入れ替えを踏まえて、今後一部システムを導入していない杉十温水プールの導入を検討するとともに、公平に利用できるよう、不適切な利用を防止するような受付事務、システムの見直しなどを行っていきます。		

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	大宮前体育館の移転改築			款	7	項	6	目	3	事業	1	整理番号	542	
担当部課名	教育委員会事務局スポーツ振興課			係名	体育施設改築準備担当			連絡先電話番号	1676			昨年度整理番号	556	
(平成23年度担当部課名)		教育委員会事務局社会教育スポーツ課							予算事業区分		投資事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度									<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) スポーツ振興法第12条 (2) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	荻窪小学校跡地に大宮前体育館を移転改築する。					活動指標名(式)		(1) 建設費等検討会 (2) 改築工事進捗率					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○建設工事中まで建設用地の維持管理を行う。 ○平成23年12月～平成25年12月 建設工事を行う。					成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
		成果指標名(1)		(代)建設費等検討会										
		算定式・指標の説明等												
		成果指標名(2)		改築工事進捗率										
		算定式・指標の説明等												
区分		単位	21年度		22年度		23年度				24年度計画	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績							
指標	活動指標(1)	①	回		10	10								
	活動指標(2)	②	%				4.75	4.75	44.00		100.0			
	成果指標(1)	③	回		10	10								
	成果指標(2)	④	%				4.75	4.75	44.00		100.0			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	127,431	1,108	1,019	603,826	601,934	701,330	23年度予算執行率% 99.7				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	127,431	1,108	1,019	603,826	601,934	701,330	特記事項 成果指標(1)の(代)建設費等検討会は22年度のみ。 23年度以降は改修工事進捗率を指標とする。				
	(内)委託費	⑦	千円	127,431	1,108	1,019	603,726	601,934	700,730					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.04 0.00	1.00 0.00	0.21 0.00	0.00 1.00	0.00 1.00	0.00 1.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	9,234	8,920	1,873	0	0				0	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	3,080	3,080				3,080	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	136,665	10,028	2,892	606,906	605,014	704,410					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円		892,000	187,300								
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0							
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	12,000	45,184				8,000	
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0							
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0							
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	12,000	45,184	8,000					
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	136,665	10,028	2,892	594,906	559,830	696,410					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 542

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				改築工事	1
		工事監理業務委託	1	式	15,640
		設計変更業務委託	1	式	5,198
		塀改修工事	1	式	2,205
		その他（道路清掃業務委託等）	3,502		
	(2) 事業実績	旧・荻窪小学校跡地に大宮前体育館を移転改築するため、建設工事に着手しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	基本構想策定後、資質評価型プロポーザル方式により設計者を選定し、基本設計・実施設計を行いました。併せて、基本設計、校舎解体等の住民説明を行うとともに、移転改築用地測量、移転改築用地地盤調査、土質調査、既存建物アスベスト調査を行いました。また、建物の地下化に伴う建設経費の精査のため、22年度の建設工事は延期しましたが、23年12月、建設工事に着工しました。
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	住民懇談会報告書により、地域のスポーツの拠点として充実した機能を有するとともに、高齢者の健康増進や地域コミュニティの核としての役割を担う施設の建設が求められています。
	今後の予測	25年12月竣工、26年4月に供用開始予定となっています。
	評価と課題	平成19年度に行った(仮称)大宮前体育館移転改築検討住民懇談会の提言と移転改築基本構想の基本的な考え方に示されている①地域スポーツの拠点、②健康・体力づくりに気軽に取り組める施設、③世代を超えた地域コミュニティの核となる施設、④環境共生型施設、⑤地域の防災面への配慮した施設の各視点をプロポーザル方式による提案に反映させ、実施設計を行い、建設工事に着手しました。 今後は、上記目標達成のため、完成後の管理運営方法の検討も課題となってきます。

改善・見直しの方向（中長期）	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 543

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		建築工事			
		電気設備工事			33,373
		機械設備工事			88,327
		工事監理			4,068
		その他（初度調弁他）			3,610
	(2) 事業実績	高井戸地域区民センター・高齢者活動支援センター・高井戸温水プールの3施設一体の施設運営を指定管理者が行うこととし、公募型プロポーザル方式により23年度に選定しました。また改修後は団体利用時の全面貸切の廃止、及び集合抽選の廃止と予約システムの導入をすることとし、利用者・団体に対する説明会を行い、24年5月以降の予約をシステムで受け付けを開始しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	改修対象の建物は平成58年4月1日に開設されました。それ以来、高井戸温水プールは地域の多くの区民に利用され、健康の向上に無くてはならないものとなっています。(平成22年度利用者数:117,883人)
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	改修後の温水プールについて、大勢で利用する場合の動線、更衣室のレイアウト、ジャグジーの規格等について意見・要望があり、改修内容、実現可否について説明するとともに、構造上止むを得ないものはご理解いただくよう努めました。
	今後の予測	平成24年度に改修工事を竣工させ、平成24年4月27日に竣工、5月7日から温水プールの利用を再開します。
	評価と課題	高井戸地域区民センター・高齢者活動支援センター・高井戸温水プールの3施設一体の施設ならではの利便が図れるとともに、温水プールとしての安全性・利便性が図れるような管理運営に取り組んでいく必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input checked="" type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
平成24年度に改修工事は竣工することで事業は廃止となり、高井戸温水プールは体育施設の維持管理事業のみとなります。						

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 551

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		給料	422	人	1,391,241
		職員手当(期末勤勉手当、地域手当、時間外勤務手当等)	422	人	1,219,031
		共済費	422	人	486,732
		その他()			0
(2) 事業実績	平成23年度学校技能系職員退職者数 調理6名 用務4名 警備3名				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	「スマートすぎなみ計画」に基づき、学校技能系職員の削減を進めています。また、平成19年度から区独自で採用していた区費教員は、平成23年度の採用をもって終了となりました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	景気の急速な悪化に伴い、公務員の給与の適正化に対する関心が高まっています。
	今後の予測	技能系職員の退職者の推移に合わせ、今後とも委託化・非常勤化を進めていく必要があります。
評価と課題		「スマートすぎなみ計画」に基づき、学校技能系職員の削減は、計画的に進められています。今後は、より実践的な研修の実施や、メリハリのある人事・給与制度の構築を更に進め、質の高い行政サービスの提供に向け、学校職員の意欲と能力をいっそう高めていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現 状 維 持	<input checked="" type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更			
	学校技能系職員については、平成23年度13名の職員を削減しました。引き続き、学校技能系職員の削減を進めていきます。					

特記事項	
------	--